

理 事 長 式 辞

青森公立大学に入学されました学部生 331 名、研究科生 6 名の皆さん、まことにおめでとうございます。教職員一同皆さんを心から歓迎いたします。そして、これまで皆さんを、しっかりと支えてこられたご家族はじめ関係者の方々には、心からお祝いを申し上げます。

さて、本日、青森公立大学の門をくぐられた皆さんにお伝えしたいことがあります。

本学の教育の基本方針の一つに「常に『何故か』の問いを発し、自らの頭で考える知的訓練を課し、創造力を育てること」というものがあります。大学は、単に知識を得る場所ではありません。常に「問いを立て、答えを探し続ける場」です。

社会は急速に変化し、生成 AI の普及やグローバル化、環境問題など、かつてない課題が次々と現れています。とりわけ生成 AI の急速な発達は私たちの生活や労働を根本から変えていくはずです。

こうした時代に必要なのは、与えられた答えを覚える力ではなく、未知の問題に挑み、解決策を創り出す力です。そして、そのプロセスで生成 AI をどう使いこなしていくのかが求められているのです。

大学では、講義、演習、実習、ゼミなどが用意されていますが、これらは全て皆さん一人ひとりが自ら進んで学び考え、そして行動する、いわゆる「能動的な学び」をしっかりとサポートするためのものなのです。また、サークル活動やボランティア活動、地域との交流活動にも積極的に参加していただきたいと思います。学業以外でも新しいことに貪欲にチャレンジする過程で、より実践的な企画力やコミュニケーション力を身につけることができるでしょう。

このように、皆さん一人ひとりの好奇心と行動力によって自由に自分を磨くことができるのが大学なのです。こうした皆さんの新たな挑戦を、私たち教職員は全力で応援します。

どうか、自分の可能性を信じ、誇りを持って歩んでいただきたいと思います。

結びに、皆さんの未来が、希望と喜びに満ちたものであることを心から祈念し、式辞といたします。

2026年4月3日

公立大学法人 青森公立大学 理事長 高坂 幹